

教師ノート

日付	2011年11月20日
単元	ヨシュア記
テーマ	従順
タイトル	エリコの陥落
テキスト	ヨシュア2:1-24、6:1-27
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マルコ9:23 or 申命記20:4
AG 日曜学校教案参照箇所	(リンクできます)

□導入

先週は、イスラエルの民がヨルダン川を渡ったお話でした。今日はその続きのお話です。イスラエルの人たちがエリコという町を占領するお話です。イスラエルの人たちがどのように町を占領したのか、また神様がどのように助けて下さったのかを見ていきましょう。

□ポイント1 ヨシュアはエリコの町を探ることにしました

エリコの町は、ヨルダン川から西に約十キロ離れた大きな町でカナン征服の鍵を握っていました。イスラエルにとってこの町を攻め取ることがとても重要でした。

ヨシュアはエリコの町に二人の偵察隊を送りました。偵察隊はラハブという人の家に泊まりました。ところがエリコの王様に、偵察隊が忍び込んだことを通報する者があったのです。王様はさっそく、兵隊をラハブの家に行かせました。しかしラハブは、二人をかくまったまま、兵隊に「あの人たちならとくに帰りました。夕やみにまぎれて町から出て行ったみたいです。」と言いました。ところが実際は、二人を屋上に隠していたのです。そうとは知らず、兵隊は町の外へ探しに行きました。

ラハブは、屋上へ行き二人の偵察隊に言いました。「あなたたちの神様が、この地をあなたたちのものにしてしようとしていることは、よくわかっています。この町の住民はみんなこわがっています。それは、イスラエルの神様がエジプトで奴隷だったイスラエル人を救い出したことや、葦の海の水を二つに分けて渡らせたこと、さらにヨルダン川の流れを止めて人々を渡らせたことを聞いていたからでした。ですからイスラエルと聞いただけで震え上がってしまいます。もはや戦う勇氣を持っている人など一人もいません。そこでお願いがあります。エリコを占領する時、私の家族のいのちだけは助けてもらえないでしょうか。」二人は「私たちのことをしゃべらなければ、あなたも家族のいのちも助けましょう。」と約束しました。

ラハブの家は町の城壁の上にあったので、二人は綱で窓からつり降りしてもらいました。そして別れぎわにこう言い残しました。「この赤いひもを窓から垂らしておきなさい。そうすればこのひもを目印にこの家にいる人は助けます。」こうしてラハブは、窓から赤いひもを垂らしたままにしておきました。二人のスパイは山へ逃げ、三日間ひそんだ後山を降り帰って行きました。二人はヨシュアに一部始終を報告しました。「神様は、あの地を全部、われわれに下さいます。まがいがありません。住民はみな、私たちを死ぬほど恐れているのです。」

□ポイント2 神様からエリコの町攻略の作戦が語られました

さて、エリコの城門は堅く閉ざされていました。だれもがイスラエル人を恐れていたからで、人っ子ひとり出入りできないほどでした。

神様はヨシュアにエリコの町を占領する方法を教えてくださいました。「イスラエルの民よ、この戦いはすでに勝利している。町も人も、みなおまえたちのものだ。六日間、全軍を率いて、日に一度、町の周囲を回れ。そのあとに、ラツパを手にした七人の祭司、神の箱と続く。七日目には七度回り、祭司がラツパを吹き鳴らす。祭司がラツパをひときわ高く、長く吹き鳴らしたら、全員、大声でときの声をあげよ。町の城壁はく

ずれ落ちるだろう。その時、四方八方から町へ攻め込むのだ。」

ヨシュアは神様の言われた作戦が、不思議な作戦だと思いましたが、神様のお言葉を信じました。ヨルダン川を渡る時だって、神様は流れを止めてくださったのです。神様の方法は一番良い方法で、今度も神様が教えて下さったようにすれば、必ず助けてくださると思いました。

□ポイント3 イスラエルの民は神様の作戦に従いました

ヨシュアとイスラエルの民は、ヨルダン川を渡る時に神様の不思議な力を経験したばかりでしたから、少しも疑わないで神様が命じられたとおりにしました。

行列の先頭は兵隊、次に角笛を持った祭司、そして「契約の箱」を担ぐ祭司、最後にイスラエルの民の順番で、町の周りを回りました。「わたしが『大声を上げろ』と言う時まで声を出してはいけない」とヨシュアから命じられていたので、みんな黙って歩き続けました。城壁の周りで聞こえているのは、祭司が吹く角笛の音と人々の足音だけです。「何をやる気なんだろう」と、エリコの人たちは不思議に思いました。

イスラエルの民は6日の間、毎日一回ずつ町の回りをしゃべることなく行進しました。

七日目になりました。この日は神様の命令どおりに、城壁の周りを7回行進するのです。1回、2回、3回と、イスラエルの人たちは、神様が言われたとおりにしました。そして7周回った時、祭司たちが角笛を長く吹き鳴らすと、ヨシュアはみんなに合図をしました。「さあ、みんなで一斉に大声を出しなさい。神様がこの町をあなたたちに与えてくださったのです。」

ヨシュアの合図で、イスラエルの民はみんなで大声で叫びました。「わーっ!!」「神様はこの町を下さった!!」「わーっ!!」するとどうでしょう。「ガラガラガラ！ゴーゴー！」と大きな音がして。町を囲んでいたりっぱな城壁が、崩れ落ちたのです。城壁には誰も指一本ふれていませんでした。

「今だー。突入！」イスラエルの人たちは、一斉にエリコの町を攻め、あっという間に町を占領しました。神様のおことばに忠実に従った結果与えられた、不思議な大勝利です。

エリコの町には、前にヨシュアが送ったイスラエルの偵察隊を助けてくれたラハブという女の人が住んでいましたが、約束したとおりに、彼女とその家族は無事に助け出されました。

□結論 イスラエルの民は神様の命令に従ったのでエリコの町を占領できました

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

神様は、私たちの考えとは全く違う方法で、イスラエルの民に勝利をもたらしてくださいました。私たちも何か問題が起きたとき、自分の考えにとらわれてあきらめてしまうことはないでしょうか。神様は、信じて従う人には、勝利を下さるお方です。あきらめてしまっていた問題があるなら、もう一度、神様を信じて祈ってみましょう。